

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

令和8年度に予定している「福生市障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画」を策定するにあたり、基礎資料として活用するため、実態調査を実施しました。

## 2 調査対象

	対象者 (在宅で生活し次に該当する市民の方)	対象者数
障害者生活実態調査 【障害者用】	身体障害者手帳所持者	1,428
	愛の手帳所持者	430
	精神障害者保健福祉手帳所持者	739
	特殊疾病患者福祉手当受給者	434
障害者生活実態調査 【障害児用】	身体障害者手帳所持者	24
	愛の手帳所持者	125
	精神障害者保健福祉手帳所持者	32
	特殊疾病患者福祉手当受給者	13
事業所調査	市内障害福祉サービス事業所	49

## 3 調査基準日

令和7年10月1日

## 4 調査期間

令和7年12月1日～令和7年12月22日

## 5 調査方法


障害者生活実態調査：調査票を郵送で配布し、郵送及びインターネットで回収  
事業所調査：調査案内を郵送配布し、インターネットで回収

## 6 回収状況

	配付数	有効回収数	有効回収率
障害者	2,701 通	1,409 通	52.2%
障害児	170 通	84 通	49.4%
事業所	49 通	35 通	71.4%

※配布数は重複して手帳等を所持されている方もいるので、上記対象者数と一致いたしません。

## 7 調査結果の表示方法

- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回収数の合計と単純集計（全体）の有効回収数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、特徴的なものを  で網かけをしています。（無回答を除く）